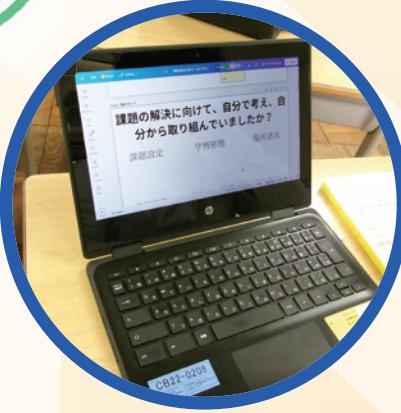
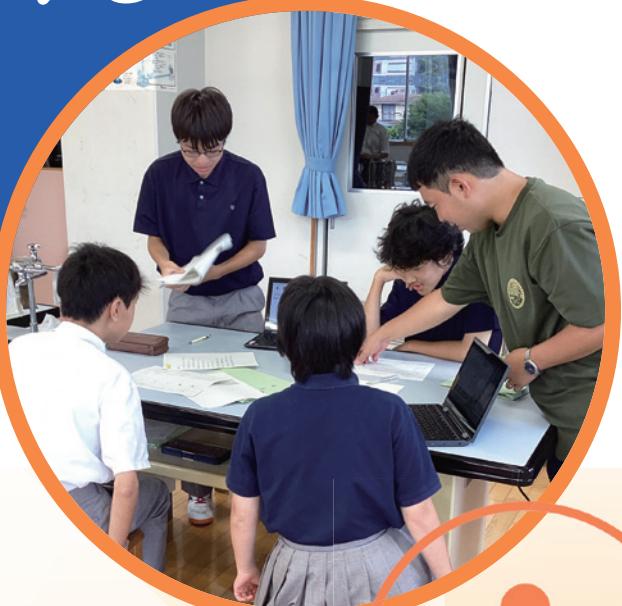


研究主題

主体的に学び続ける 生徒の育成

～自己肯定感を高める
指導の工夫～



教育長あいさつ

町田市教育委員会教育長 小池 慎一郎

町田市立堺中学校は、2024年度から2025年度までの2年間にわたり、町田市教育委員会研究指定校として、熱心に研究を進めてこられました。この度、その成果を研究紀要としてまとめ、発表されますことを心よりお慶び申し上げます。

町田市教育委員会では、教員が「教える」から「導く」という授業観を転換する授業改革を推進しているところです。本校では、この授業改革の実現に向けICTを最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究に取り組んでこられました。その中でも、生徒の「自尊感情」を高めることを研究の土台として位置付け、教育活動全体を通じて生徒の「人のよさを認める力」「協力しようとする力」を伸ばし、「学び続ける力」の向上を図るための実践を積み重ねてこられました。

本校の研究成果が、市内の小中学校の参考となり、町田市全体の授業改革につながることを期待しております。結びにあたり、これまで熱意をもって研究を進めてこられました、工藤 憲治 校長をはじめ教職員の皆様のご努力に敬意を表するとともに、本校の研究を温かく支えてくださいました保護者や地域の皆様に厚くお礼申し上げます。

主題設定の理由

令和5年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査より
「1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか？」

都平均
79.4 %

本校
68.2 %

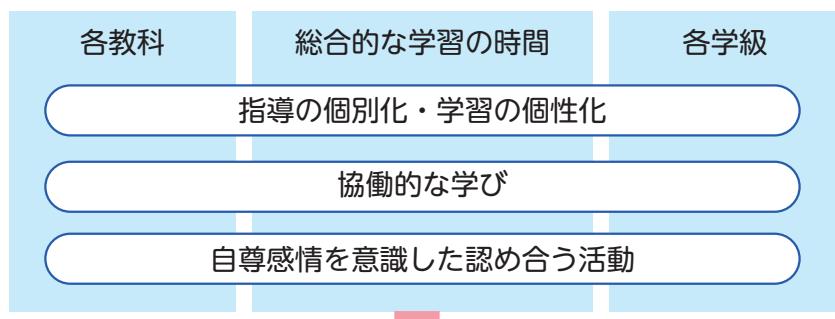
10ポイントほど下回っている。また、不登校生徒も增加傾向(令和5年度: 8%)

<目指すゴール>

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか？」の質問項目における肯定的な回答を11月の時点で8割以上にすることを目指します。

<目指す生徒像> 主体的に学びに向かい「学び続ける力」を培った生徒

仮説・構造図



<仮説>

「個別最適な学び」「協働的な学び」「自尊感情を意識した認め合う活動」を各教科・総合的な学習の時間・学級活動等で進めることで、「生徒の学び続ける力」の育成につながるのではなかろうか。



研究の柱

個別最適な学び



指導の個別化

教材、学習形態、学習方法を生徒が選択する活動

協働的な学び



班活動

様々な場面で対話的な学びの機会の設定、発表活動の充実

- 教員を学年、教科を問わず個別チーム、協働チームに分けて共通のテーマを作り、授業改革に取り組む
- 自尊感情価値尺度シートを活用し、生徒の自尊感情の高まりを確認していく

教員の1年間の研修内容

5月

校内研修 生徒の実態把握



6月

校内研修 チームでテーマ設定 → 指導案検討



まとめはCanvaを活用し、全教員で共有できるようにした。
授業作りの視点は町田市の「6つの選択場面」を意識

6月

研究授業

個別

協働

理科

美術

保育

国語



成果と課題を整理し、次回の研究授業において
6月のテーマを再確認

7月

研究授業

個別

協働

英語

理科

理科

理科



「個別最適な学び」や「協働的な学び」に対して、
堺中教員全体で取り組めるような授業改革のスタイルを考えた

■ 自尊感情測定尺度(東京都版)の活用



年に2回、全学年
年にアンケートを実施

↓
自尊感情を高める指導ができる
いるか考察

10月 11月

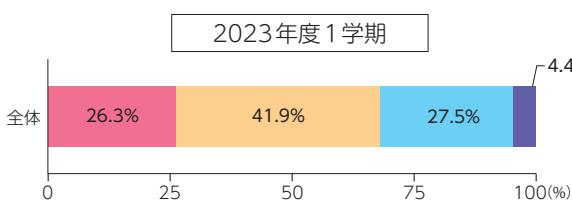
・教科ごとで成果と課題を確認
・講師の先生による指導・講評



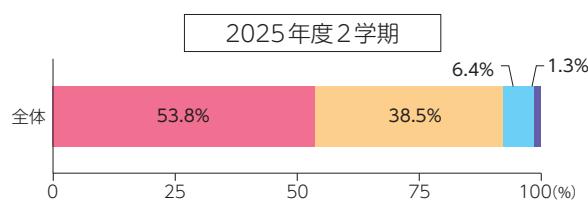
生徒の意識の変容

〈全体〉 課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか？

■ 取り組んだ ■ どちらかといえば取り組んだ ■ どちらかといえば取り組んでいない ■ 取り組んでいない



24.1ポイント上昇



各教科の2学期以降の実践事例

社会 【指導者】 笹谷 寛行 【対象クラス】 1-D

【単元】 第2部 世界のさまざまな地域
第2章 世界の諸地域 第3節 アフリカ州

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

- ・単元を見通した問い合わせに対して、生徒個人が自らテーマを選択し、課題に取り組ませる。
- ・知識を獲得するために学習手段や学習形態を自分で決めて、生徒が主体的に取り組める活動を行う。



数学 【指導者】 比嘉 佐由理 【対象クラス】 2-E

【単元】 1次関数

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

- ・変化の様子をまとめる際、表を使うか、グラフを使うかを生徒に選択させる。
- ・難易度の高い問題を設けて、さらに主体的に考えられるようにする。
- ・個別学習の後に、協働的な学びを入れることで互いに学びを深めるようにする。



保健 【指導者】 宮川 智也 【対象クラス】 さくら

【単元】 「時間と時刻」

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

- ・授業始めに行う九九では、自分で学習したいプリントを選び、各自取り組ませる。
- ・プリントかキュビナを各自選択させて取り組ませる。



英語 【指導者】 渡久山ひなた 【対象クラス】 2-C-D

【単元】 Unit 4 Tour in Singapore Part 1 どこに行きたい？

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

- ・アクティビティを取り入れ、自発的に参加する流れを作る。
- ・理解度に合わせて個人で問題を解く量を調節する。



国語 【指導者】 加藤 はるか 【対象クラス】 3-D

【単元】 慣用句・ことわざ・故事成語

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

- ・自分の理解度に合った問題を選択して取り組む。(キュビナ)
- ・自分の知らない語句はその都度タブレット端末で調べられるようにする。
- ・自分で好きな語句を選択し、その語句を使って短文を作る。作る短文の数も自分で選択させる。



国語 【指導者】 平山 孝之 【対象クラス】 3-D

【単元】 作られた「物語」を超えて

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

- ・自分の身の回りの出来事や、それぞれの知識や体験の中から題材を選択して取り組ませる。
- ・自分で好きな題材を選択し、その題材でスライドを作成させる。
- ・必要に応じて、タブレット端末を活用し情報や理解を広げさせる。



保健 【指導者】 星野 敦司 【対象クラス】 2-A

【単元】 球技:ベースボール型(ソフトボール)

【個別的な学習の視点での指導の工夫】

学習カードを用いて毎時間、本時の課題を発見させる。そして次回の授業では、課題克服に努められるよう、練習パートを多く設け、個別に練習メニューを選択させることで技能の向上を図る。また、選択できる環境があることにより、その日の振り返りが次回の活動へつながり、取り組むべき内容をイメージしやすくなる。



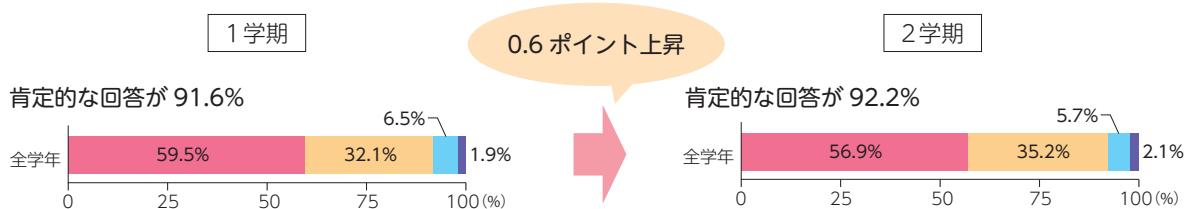
協 動 的 学び

協働的な学びの取組

協働的な学びの取り組みに関する生徒の意識の変容

できた どちらかといえばできた どちらかといえばできていない できていない

〈全体〉クラスメイトとの対話の中で、考え方を見直したり、考え方を深めたりすることができましたか？



協働的な学びの取組内容

- 少人数編成での学習活動を重視 → 主に4人班を中心とした班活動を行い、積極的に意見交換ができる環境づくりを行う。
- 発表会を設定 → 各教科、どこかの単元において、発表会のような「考え方をまとめ、他者に伝達する授業」を実施。
- まとめや表現の方法を工夫 → 個々が役割を担当し、班で発表を作り上げ、ポスターセッション等の方法で発表を行う。
- 課題を再設定させる場面の設定
 - 発表を通して生じた課題や疑問をもとに、さらに自己の学びを深める時間を設定する。

6月の実践① 美術

【指導者】本間 豊 【対象クラス】1-C

【単元】私のシンボルマーク

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- 個別で調べたことをもとに、話し合い活動を通して、課題解決に向かわせる。
- 小集団で、お互いの考え方や思いを伝え合い、自分の更なる思考へつなげる。



6月の実践② 国語

【指導者】田中 美帆 【対象クラス】2-B

【単元】人間のきずな 聞き上手になろう

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- 学習活動は基本的に4人班で行う。4人に異なる役割を与え、それぞれが役割ごとに異なる視点で活動に関わることで、多角的に物事を捉える力を養うことができる。
- 動画を撮影し、その映像をもとに振り返りを行い、相互理解・対話・改善に向けた関係性が育ち、協働的な学びにつなげる。



7月の実践① 理科

【指導者】満崎 佳 【対象クラス】さくら(特別支援)

【単元】生物のすごいところをたくさん発見し、紹介しよう

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- 4人班を形成し、その中で発表活動を行う。
- 発表に対して質問や疑問、感想を述べさせ、発表後のさらなる探求学習につなげる。
- ポイント制を採用し、質問や感想を積極的に伝えられる環境を設定する。



7月の実践② 理科

【指導者】齋藤 龍馬 【対象クラス】2-E

【単元】化学変化と物質の質量

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- 実験結果デジタルホワイトボードを用いた観察、実験の結果の共有
- 共同編集が可能なスライドを用いた発表活動
- 4人班を基本とした学習活動のグループ化



各教科の2学期以降の実践事例

英語 【指導者】廣瀬 也実

【対象クラス】

2-AB 少人数クラス

【単元】

Unit 4 Tour in Singapore

Part 1 どこに行きたい？

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- ・アクティビティを取り入れ、自発的に参加する流れを作る。また、他者の発表に対して、自分の考えを述べる時間を設定する。



数学 【指導者】森元 公彦

【対象クラス】

3-CD 少人数クラス

【単元】相似な図形

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- ・デジタル教科書のシミュレーション機能を活用して図形を変形し、平行四辺形であるための条件4つに当てはめて証明させる。平行四辺形であるための条件4つを役割分担して、特徴をまとめ、共通点を見出す活動を行う。



技術 【指導者】大塚 則岳

【対象クラス】1-D

【単元】材料と加工

「ものづくりの進め方」

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- ・3～4人のグループワークで木材のセールスプランをまとめる。コンセプト・材料選択・寸法設定・セールスポイントについて発表者を決め、全員に役割をもたせる。グループによるプレゼンテーションあと、質疑応答を行いより良いプランを考えさせる。



音楽 【指導者】村上真梨子

【対象クラス】2-A

【単元】旋律が重なり合っていく

面白さを味わおう

フーガ ト短調

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- ・学習活動は3～4人班を基本とする。進行、記録、発表、音源とグループ全員に役割をもたせる。発表にはCanvaを用いるが、話し合いを活発化させるため、共同編集を行わずに記録係のみが使用し、意見交換をさせる。



社会 【指導者】岡田真太朗

【対象クラス】

さくら学級(特別支援)

【単元】選挙ってなんだろう

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- ・選挙を実施する意味や、メリットについて意見交換する。
- ・模擬選挙を行い、一人の候補者を選んで投票をさせる。



社会 【指導者】鶴田 健介

【対象クラス】2-D

【単元】第3部日本のさまざまな

地域

第3章日本の諸地域

第3節近畿地方 及び 第6節東北地方

【協働的な学習の視点での指導の工夫】

- ・発表に対する疑問や提案を伝える場面をしっかりと設定し、それについて発表者が調べ直したり考え直したりする取り組みを通して学びを深め、学び続ける生徒の育成につなげる。



おわりに

2年間の研究では、「主体的に学び続ける生徒の育成～自己肯定感を高める指導の工夫～」というテーマの基、先生方の実践を共有しながら、これから授業づくりに向けた多くの示唆を得ることができました。既存の授業スタイルを見直し、生徒が自ら選択し、学び方を決定する場面を意図的に増やしたこと、「自ら学ぶ」という姿勢が着実に育っているという成果は、私たちにとって大きな励みとなりました。個別最適な学びと協働的な学びを取り入れた授業展開は、「主体的に学び続けること」を支える基盤であり、生徒たちの可能性を広げる重要な要素です。

一方で、これまで大切にしてきた学習内容や指導方法と、新たな「自ら学ぶ学習」の視点をどのように結び付け、学校全体として一貫した学びの流れを構築するかという課題も明らかになりました。これからは、従来の良さを活かしつつ、新しい学びを組み込んだカリキュラム・マネジメントを進めていくことが求められます。

最後になりますが、本研究が皆さまの明日の授業改革につながり、生徒の学びをさらに豊かにする一助となれば幸いです。

研究を終えて

校長 工藤 憲治

2024年3月に策定された「町田市教育プラン24-28」の中で、教育目標「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」の実現に向け、「学び続ける力」が基本方針として示されました。

本校は、2024・2025年度町田市教育委員会研究指定校として、「主体的に学び続ける生徒の育成～自己肯定感を高める指導の工夫～」の研究主題の下、「学び続ける力」の向上を目指し研究を進めてまいりました。

2年次となる今年度は、これまでの教員が生徒に教える一斉一律授業から「個別最適な学び」と「協働的な学び」への授業改革の視点に立ち、教員を2つのテーマ・4つのグループに分けました。そして土台となるのは「自尊感情」を意識した認め合う活動と捉え、授業実践を行ってまいりました。2年間の研究を終え、個別最適な学び・協働的な学びにより学力向上を図ることが、生徒一人一人の“自己肯定感”を高め、結果として主体的に学び続ける生徒の育成へと繋がることを実感しています。

2年間の本校の研究を進めるにあたり、ご指導・ご助言いただきました講師の方々をはじめ、町田市教育委員会、関係諸機関の皆様に心より感謝申し上げます。

ご指導いただいた先生方

明星大学教育学部教育学科 客員教授

玉川大学教師教育リサーチセンター 客員教授

樋口 豊隆 先生

仙北屋 正樹 先生



教職員

| | | |
|------|--------|-----------|
| 校長 | 経営 | 工藤 憲治 |
| 副校長 | 経営 | 島田 健一 |
| 第1学年 | 1A担任 | 英語 小関 淳子 |
| | 1B担任 | 数学 松井 佑介 |
| | 1C担任 | 理科 長門 輝一 |
| | 1D担任 | 保育 守谷 幸子 |
| | 1E担任 | 英語 峯 和佳子 |
| | 1F担任 | 社会 笹谷 寛行 |
| | 1AB副担任 | 理科 遠藤 侑 |
| | 1CD副担任 | 数学 高橋麻也子 |
| | 1EF副担任 | 国語 古屋 茂樹 |
| | 2A担任 | 保育 星野 敦司 |
| 第2学年 | 2B担任 | 国語 田中 美帆 |
| | 2C担任 | 理科 斎藤 龍馬 |
| | 2D担任 | 美術 本間 豊 |
| | 2E担任 | 社会 鶴田 健介 |
| | 2A副担任 | 英語 廣瀬 也実 |
| | 2B副担任 | 数学 比嘉佐由理 |
| | 2CD副担任 | 英語 渡久山ひなた |
| | 2E副担任 | 国語 加藤はるか |

| | | |
|-----------|---------------|---------------------|
| 3A担任 | 英語 小林 秀子 | 用務 古谷 健二 |
| 3B担任 | 保育 小越 直 | 用務 板垣 薫 |
| 3C担任 | 理科 橋本 淳 | 用務 岡田 一也 |
| 3D担任 | 国語 平山 孝之 | 用務 大橋 渉 |
| 3E担任 | 数学 森元 公彦 | 副校長補佐 村尾 昌昭 |
| 3F担任 | 社会 細谷 雄太 | スクールサポートスタッフ 前田 陽子 |
| 3AB副担任 | 技術 大塚 則岳 | スクールカウンセラー(都) 東海林則子 |
| 3CD副担任 | 家庭 谷所希代子 | スクールカウンセラー(市) 恩田 瑞穂 |
| 3EF副担任 | 音楽 村上真梨子 | 講師(社会) 渡邊 一毅 |
| 学級主任 | 特・英語 青木千亜希 | 講師(数学) 関野由加利 |
| 1年 | 特・保育 大澤 勝 | 講師(特・音楽) 藤井 恒子 |
| さくら学級 | 1年 特・英語 岡田真太朗 | 講師(特・美術) 大矢華名子 |
| 2年 | 特・保育 藤井 真 | 講師(特・技術) 嶋田 宏和 |
| 3年 | 特・理科 満崎 佳 | 講師(特・家庭) 宮崎 敦江 |
| 3年 | 特・保育 宮川 智也 | 講師(特・英語) 福嶋 弘子 |
| 養護教諭 | 養護 牧瀬恵美子 | ■ 2024年度 教職員 |
| 特別支援教室専門員 | 関谷 奈美 | 中村 広也 (数学) |
| 特別支援教育支援員 | 佐藤 郁子 | 木野戸 友香 (家庭) |
| 特別支援教育支援員 | 高徳 寿介 | 金井 愛里 (保健体育) |
| 事務(都) | 目黒純巳子 | 薩山 忠海 (英語) |
| 事務(市) | 岡田 洋 | 井上 秀史 (美術) |



町田市立堺中学校

〒194-0211 東京都町田市相原町752 電話: 042-771-2348
ホームページ: <https://machida.schoolweb.ne.jp/1320110>